

6 自分の感動を伝える本当の感想文を書こう

年 組 名前

読書感想文というと、あらすじばかりを書いてしまって、本当の感想は最後の数行だったという経験はありませんか。

そういうことにならないようにするには、書く前の材料集めが大切です。次にあげるステップ1〜4のように考えて書き、あとで組み立ててまとめていきましょう。

ステップ1 気に入ったところを書き写しましょう

読んだ本の中で、特に気に入った部分（印象的な場面など）を書き写します。



(例)

○ 「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」

○ 「ごん、おまえだったのか、いつもくりをくれたのは。」

ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。

兵十は、火なわじゆうを、ぱたりと取り落としました。青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました。

あなたも気に入った部分を書き写してみましよう。

Blank writing area with vertical dashed lines for text entry.

年 組 名前

ステップ2 理由を考えましょう

自分がなぜ、その部分が好きなのか（気に入ったのか）理由を考えて書きましょう。

(例)

○ それまでいたずらばかりしていたごんが、自分のことを反省した後に、兵十のことに同情しているところがなんだかじいんときた。

(例)

○ もう少しで兵十がごんと仲良くなれるのではないかと期待していたのに、いきなりごんが兵十に殺されてしまったのですごくショックだった。

この文を読んだ人をなっとくさせたり、その本を読みたくせせたりできる文が書けたかな。



あなたも理由を書いてみましょう。

A large rectangular area with a thick black border, containing several vertical dashed lines for writing.

Blank writing area with vertical dashed lines for text entry.

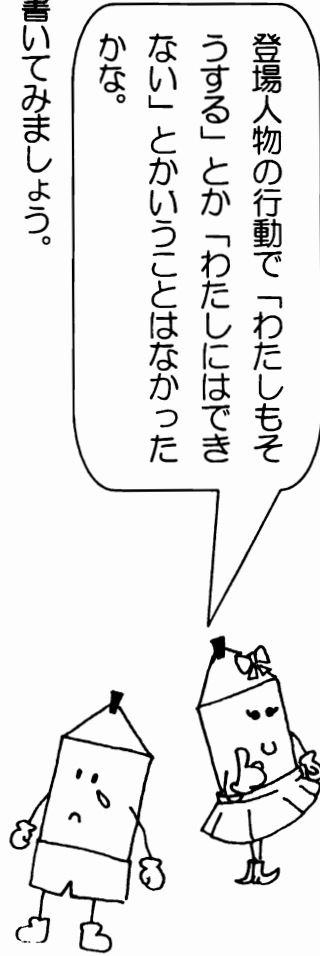
年 組 名前

ステップ3 登場人物と自分を比べてみよう

好きな（心に残った）部分に出てくる登場人物で、特に好きな（心に残った）人物を一人選びます。そして、その人物について、自分と比べてみるのもいいですね。

(例)

○ こんがさびしがりやで、兵十のことが好きなのに、自分の気持ちが素直に伝えられないところが似ている。わたしも、友だちに話しかけたいのに、わざと知らん顔をしてしまったり、意地悪なことを言ってしまったりしたことがあった。



あなたも書いてみましょう。

年 組 名前

ステップ4 本からえいきょうを受けたことを書く

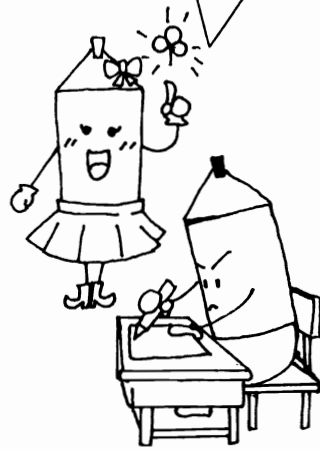
この本を読んで自分の考え方が変わったり、行動を変えようと思ったところを書きます。

(例)

○ 今まで、友だちとうまくいかなかったときは、すべて相手が悪いと思ってきた。でも、どちらも悪くなくても、この物語のようによくいかないことがある。だから、一方的に相手に腹を立てるのではなく、相手の気持ちも考えてみるようにしようと思えるようになった。

読んだ本が、自分にえいきょうを受けたことを書いてみよう。  
「わが書ける」とかなりハイレベルな感想文になるよ。

あなたも書いてみよう。



A large rectangular area with vertical dashed lines, intended for writing a response.

